

2020年度「乳の学術連合」学術研究

# 「乳の社会文化」 学術研究の公募

「乳の社会文化ネットワーク」は、  
一般社団法人「Jミルク」と共同して、  
「乳」に係る社会的・文化的な学術研究を公募します。

申請締切日  
**2019.12.31** Tuesday



## 募集研究テーマ

特定研究  
テーマ

### 1 牛乳乳製品の価値創造

牛乳乳製品の価値創造に通じる研究。例えば、コミュニケーション革新、ブランディング、地域循環型フードシステム、バリューチェーンに関する研究など。

### 2 牛乳乳製品の食生活への受容

牛乳乳製品の食生活への受容の歴史、受容の現状と課題、「美味しさ」の感情や記憶の創出に関する日本及びアジア諸国をフィールドとした研究など。

### 3 次世代酪農の可能性

酪農の持続可能性を探るための社会的・文化的な研究。例えば、酪農生産、フードチェーン、制度・政策、評価手法に関する研究など。

### 4 持続可能な開発目標（SDGs）の達成への日本酪農の貢献

SDGsの達成に向けて、日本の酪農乳業が取り組むべき課題、飼料自給率の向上や環境負荷の低減、地域循環型フードシステムなどの持続可能性を高める課題に関する研究など。

一般研究  
テーマ

### 5 乳及び酪農乳業に関する社会的・文化的視点からの研究

牛乳乳製品の食文化的意義、酪農乳業の歴史及び社会経済的な意義に関する研究など。

注)「牛乳」もしくは「乳」とは、食品としての牛乳乳製品を意味する。（「乳」にはヤギ乳・ヒツジ乳を含む）

上記テーマへの申請のうち8件程度を採用します。

## 募集要項

応募資格 国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で研究を行う研究者等（大学院生を含む）、または特定の機関等に属さない個人研究者。

委託研究期間 原則として1年を超えないものとします。

委託研究費 年間1件当たり原則として70万円以内（税込）とします。ただし、海外渡航調査など多額の費用が含まれる場合、100万円以内（税込）とします。

選考方法 審査委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定します。

### 審査委員会

委員長 生瀬寺真一（福島大学 農学群食農学類長）

副委員長 小長谷有紀（独立行政法人

日本学術振興会 監事）

委員 阿久澤良造（日本獣医生命科学大学 名誉教授）

五十音順 上田隆穂（学習院大学経済学部経営学科教授）

鶴川洋樹（秋田県立大学生物資源科学部

アグリビジネス科 教授）

江原絢子（東京家政学院大学 名誉教授）

大江靖雄（千葉大学大学院薬学研究所 教授）

小川美香子（東京海洋大学学術研究院 准教授）

小林信一（日本大学生物資源科学部

動物資源科学科 教授）

前田浩史（一般社団法人「Jミルク」専務理事）

南山宏之（株式会社アクサム 代表取締役

ディレクター）

和仁皓明（西日本食文化研究会 主宰）

